

令和6年度「いわて新農業人チャレンジファーム」が22名の受講生とともにスタート！

令和6年4月12日、盛岡市の盛岡劇場タウンホールにて、令和6年度「いわて新農業人チャレンジファーム」入講式を挙行了しました。

本年度は、30代から60代までの22名（金曜日コース12名、土曜日コース10名）の受講生を県内広域から迎え、各受講生の「農」の夢に向かい今年度の研修がスタートしました。

「いわて新農業人チャレンジファーム」は、多様な形で本県農業に関わりたい方を対象に、野菜栽培の基礎や農業機械の操作など、農業の基礎を学ぶ研修として当公社が令和2年度から開講しています。

入講式に引き続き第1回研修を行い、岩手県農林水産部農業普及技術課の藤原主査を外部講師としてお招きし、「岩手の農業」について、概要や目指す姿、取組事例等をご説明いただき

ました。

講義後の質疑応答では、受講生から多くの質問があり、研修への熱意が感じられました。

休憩を挟み、第1回研修後にはオリエンテーションを行い、担当職員から研修の概要や留意点等の説明と職員及び受講生からの自己紹介を行いました。

受講生からは、「いずれは広い土地で野菜栽培がしたい」、「半農半Xで生活したい」、「農地を活用して若い人と一緒に農業をしたい」、など、目標や夢はさまざまであり、受講生の皆さんから、農業に対する意欲が感じられました。

第2回研修は、令和6年4月26日（金）、27日（土）に雫石町南畑コテージむらで、講義は「農業の用語・単位」、実習では「農具の使い方」、「じゃがいもの植付け」等を行う予定です。



入講式の様子



第1回研修「岩手の農業」についての様子



熱心に研修を聞く受講生



自己紹介をする受講生